



Via Latina 22

2024年1月 327号

総本部よりのお知らせーマリア会

ラテンアメリカ地区での終生誓願式	1
コロンビア・エクアドル特別地区への訪問	2
マドレーヌでの新たな始まり	3
Raymond Halter神父：内的な傷のいやし	4
第36回総会のための祈り	5
2023年物故者リスト	6
2024年誓願・叙階記念者リスト	7
2024年マリアニスト家族のカレンダー	9

ラテンアメリカ地区での終生誓願式

ラテンアメリカ地区のコロンビア・エクアドル特別地区で、マリアニスト家族はマリア会Wilson Rentería士の終生誓願式に参列する喜びに与りました。この式典はボゴタのマリアニスト特別地区本部が在るそのすぐ近くの大天使ガブリエル小教区にて行われました。

12月11日と12日、特別地区のリア会員は、霊生局長、Pablo Rambaud師とチリ特別地区長、Mauricio Silva士の同席の下、特別地区集会を開きました。この兄弟的集会はWilsonの終生誓願式と同時に行われました。この集会のタイミングは、特別地区の殆どの会員にとって、Wilsonの大変意義深く、重要なステップの証人となる機会となりました。

マリアニストシスターたちと信徒マリアニスト共同体のメンバーも、Pablo Rambaud師の司式するミサ聖祭に与りました。更に、カリダとボゴタの福者シャミナード小教区の代表者たちと聖霊小教区とヒラルドに在る同じ名前前の学校からの代表者たちもこの式典に列席しました。何年も、彼はこれらの人々と生活と福音宣教活動を分かち合ってきました。



Wilson士(前列、中央)、Pablo Rambaud師、
コロンビア・エクアドル特別地区の会員と
汚れなきマリア修道会の会員

ラテンアメリカ地区長、Louis Casalá 師の代理として、特別地区長Pedro José Castañeda士がこの誓願を受け入れました。誓願式は新たな終生誓願者による心からの感謝の言葉と、祈りの依頼をもって終了し、それから伝統的な写真撮影を行い、マリアニスト家族との兄弟的食事を分かち合いました。

コロンビア・エクアドル特別地区への訪問

2023年12月4日から17日にかけて霊生局長、Pablo Rambaud師は、チリ特別地区長、Mauricio Silva士とラテンアメリカ地区長評議員会メンバーを伴い、コロンビア・エクアドル特別地区の視察訪問を行いました。

総長評議員会は2019年1月～2月間にコロンビア・エクアドルに教会法上の視察訪問を行いました。2022年5月に新たなラテンアメリカ地区が創設されましたが、それから5年間、総長評議員会メンバーの誰もこの特別地区の視察訪問を行っていませんでしたので、特別地区の共同体への新たな訪問を行う良い機会だと判断されました。この訪問の主な目的は、特別地区の会員たちに耳を傾け、新しい地区がどのように発展しているかを知ることでした。それゆえ、地区評議員会のメンバーの1名がこの訪問に参加するのは適切であると思われました。

訪問は12月4日にエクアドルで始まり、最初はキトとラタクンガの会員を訪ねました。彼らは聖母の無原罪の御宿り祝日をラタクンガのFMIの共同体のメンバーと一緒に祝いました。同日午後、彼らはボゴタに出発しました。最初の訪問は特別地区本部共同体で、そこで12月11日と12日に特別地区集会が開かれ、コロンビアに住む全ての会員とエクアドルから来たRoberto Bordignon士が出席しました。特別地区の現状、その課題と長所について、2日間の会議と分かち合いがありました。これらの会議は、グアダルルーペの聖母の祝日の午後、私たちの兄弟Wilson Renteríaの終生誓願式をもって終了しました。



**Pablo Rambaud師 集会中、3人のコロンビア・エクアドル特別地区の会員とともに
(左より) Jesús Antonio Obando師、Rodrigo Betancur師、Remo Segalla師**

残りの日程は、他の共同体（ヒラルド、福者シャミナード、そしてラ・カリダ）との会合に充てられ、特に会員との面談に充てられました。これに加え、私たちは小教区の幾つかのミサ、シャミナード基金の従業員との祝い、そしてホームレスの大人やストリート・チルドレンへの食糧や玩具の配布に参加することが出来ました。

私たちは特別地区の全ての会員、特に集会を準備し、私たちを歓迎し、自分の生活と懸念事項を快く私たちと分かち合ってくださった特別地区長、Pedro José Castañeda士に感謝します。

マドレーヌでの新たな始まり

今日、2024年1月1日は、私たちの最も古い共同体の一つであり、また、確かに私たちマリアニスト宣教の伝統の“カリスマ的母”であるマドレーヌ聖堂にとって、新たな始まりを記します。

ボルドーのマドレーヌ聖堂は、ボルドーの人たちと全世界のカリスマ的マリアニスト家族のメンバーに対して、その生き生きとした宣教活動を強め、広めるという期待を込めた新たな組織を開始します。マドレーヌ聖堂の責任者であり、この共同体の上長であるHervé Guillo du Bodan士は、この国際共同体の他のメンバーと共に、典礼、および特に地元の信者たちにとって大変重要であったゆるしの秘跡を通して、宗教的な奉仕を提供し続けようと努めています。彼らは他のプログラムや機会を導入して、この奉仕活動を広げたいと希望していますが、これにはサン・マリー・グラン・ルブラン校との定期的な協力も含まれています。同時に、記録保存室、書庫、また私たちの福者創設者の遺跡の中にある多くの資源を活用できるという利点を生かして、カリスマ的で歴史的な研究のための機会を広げることが見込まれています。ボルドーとアジャンが近いということは、SMメンバーとFMIメンバー間で、また信徒マリアニストや他の研究者の間でも同様に、より広範なお互いに有益な研究の機会を提供します。

これから、総本部はフランス地区と協力して、マドレーヌの共同体と宣教活動の責任を取ります。私たちは、この宣教活動を支えるため、また、やがてはこの新たな基金をもっと幅広く利用可能にするために、この基金に寛大な寄付をされたマリア会の多くの行政単位に大変感謝致します。私たちはこの支援の継続を願っています！



ボルドーのマドレーヌでのシャミナード師の部屋の内部

私たちは皆、特にこの移行期間中、この重要な努力のために祈り続けましょう。

Raymond Halter神父：内的な傷のいやし

25年前、1998年12月25日から26日にかけての夜、Raymond Halter神父は、彼がその生涯をかけて奉仕した主と聖母マリアに会うため天に召されました。私たちが人となられた神の生誕を丁度祝ったばかりのときに、その背丈と顔だちが力強い父親の姿を表現していたRaymond 神父は、あたかもイエスに道をあけるために脇へ寄るかのように、この世を去っていきました。

卓越した知的才能に恵まれたHalter神父は、福者ギョーム・ヨセフ・シャミナードの祈りについての文書研究を通して、マリアニスト霊性の発展に貢献しました。彼はまた『ポール・クロードルの生涯と仕事における乙女マリア』という本も執筆しました。ボルドーの学生付き主任司祭に任じられた彼は、自分を取り巻く大学環境により良く応えるために、自らの研鑽を続けました。

1973年、若者たちグループと週末を過ごしていた時、彼らは聖霊における生命を体験しました。その後すぐに、彼は車の事故で視力を失いました。毎日ル・モンド祇を読み、最新の出版動向に詳しくあった人物として、彼はこの悲劇を祈りと聖霊のお恵みによって乗り越えました。彼はナンシーでの手術により幾分か視力を取り戻しましたが、そこの外科医が、「この奇跡はまた神が私の手を導いてくれたのかもしれない」とHalter神父に言いました。この時期に、彼の上長はHalter神父をモーゼル市に赴任させました。ボルドーの知的環境から、彼はこの労働者階級の都市の素朴な人たちに適応せねばなりませんでした。



傷ついた多くの人たちが彼に助けを求めました。彼は人々に寄り添い、内的いやしの黙想を指導しました。彼は、受けた傷、精神主義の被害、邪悪な関係などの根本原因を調べ、台頭してきた新世代（ニューエイジ）の流行に対して警告しました。任務は骨の折れるものであり、要請は数多くありました。彼はアビジャンに任命されたとき、フランスに黙想センターを設立することを管区長に提案しました。彼は年中そこで過ごせたからです。しかし、神様は彼のために他の計画を持っていました。

彼は人々がこの支援を提供するよう訓練しました。黙想会の始めに彼が説教し、重い傷を抱えた人々を受け入れるために、小さな聞き役チームが準備されました。彼は、識別している人たちがどのように彼自身を取り囲んだらよいか、そしてあらゆる人間の悲惨さで人々を孤独のまま放置しないためにはどうしたら良いかを知っていました。

私たち自身、内的な傷を抱えているか、あるいは傷ついた人たちに同伴しています。イエスが私たちの内部の地獄に降りてきて、私たちを訪れてくださるよう、少し時間を取りましょう。Halter神父の取り次ぎにより、聖霊のお恵みを通して、主が訪れてくださるよう祈りましょう。私たちはHalter神父が1979年7月1日にルルドで作った祈りを私たち自身の祈りとすることができます。

主よ、あなたは私たちの必要なもの全てご存じです。私たちの身体、私たちの感情、私たちの知識、私たちの精神が必要とするものをすべてご存じです。あなたは私たちの心をご存じです。主よ、私たちを愛し、愛されるように造られたあなたは、いのち、人間、出来事が私たちの中で傷つき、あるいは時として、多分私たちの中で殺したかもしれないすべてのことを、あなたはご存じです。私たちの存在の深みで私たちを知り、私たちの存在全体知っておられる主よ、来て、あなたが私たちの心に置かれ、そのために私たちを創造された愛において花開くために私たちが最も必要とするものを私たちにお与えください。来て、私たちが隣人を愛することを妨げているもの、隣人に奉仕するのを妨げるものを、私たち一人ひとりから取り除いてください。

主よ、私たちは信頼と平和の中にここにいます。私たちはあなたを眺め、あなたの愛と思いやりのあるみ顔を見つめながら、今あなたに申し上げたいと思います。主よ、私たちがもっと愛し、もっと愛されることを学ぶよう、私たちがいやしてください。アーメン。

第36回総会のための祈り



XXXVI
GENERAL CHAPTER
SOCIETY OF MARY

ご自分の胎内にイエスを宿し、
十字架の下で私たちを子どもとして受け入れてくださった聖母マリア、
あなたはいつもイエスを私たちにお与えくださいます。
第36回総会のために、私たちはあなたに祈ります。

総会が識別と出会いの時となるよう、
私たちが聖霊の働きに素直な者とならせてください。

私たちが若者たちをよりよく知ることができるよう助けてください。
そうすれば、私たちは生きた福音であるイエス・キリストを中心とした生活の喜び、
すなわち、喜びの福音を若者たちと分かち合うことができるようになり、
こうして、私たちはマリアニストの修道生活の賜物を、
排除することなくすべての人により良く提供することができ、
また、より公正で友愛に満ちた社会を築き上げるに際して、
共に働くよう人々を惹きつけることができるようになります。

神の母、マリアニスト家族の母なる聖マリア、
私たちのために祈りください！

2023年物故者リスト

#	Name	Date	Place	Age	Prof.	Unit
1	Michael John Galvin	Jan. 1	San Antonio	81	63	US
2	*Donald James Wallace	Jan. 25	San Antonio	86	67	US
3	*Anthony Gerard Jansen	Jan. 27	San Antonio	98	79	US
4	Valentín Laconcha Abecia	Jan. 31	Vitoria-Gasteiz	84	67	ES
5	Michel Lemay	Feb. 4	Lévis	80	63	CA
6	*Francis Walter Schorp	Feb. 19	San Antonio	91	70	US
7	Juan Miguel Fernández Calleja	Feb. 20	Madrid	82	65	ES
8	*Gustave Lamontagne	Feb. 28	Lévis	86	70	CA
9	*Eugen Mensdorff-Pouilly	Apr. 25	Rainbach im Mühlkreis	80	61	OE
10	*Fermín Gastaminza Ibarburu	Apr. 29	Madrid	91	73	ES
11	*Feliciano Ruiz Gainzarain	May 29	Madrid	100	82	ES
12	Willy Mboma Malie	Jun. 11	Kinshasa	58	28	FR
13	*Shigeru Dominique Tagawa	Jul. 12	Kawasaki	97	79	JA
14	*Diego Tolsada Peris	Oct. 7	Madrid	77	60	ES
15	*John Kracher	Oct. 7	Winnipeg	87	65	CA
16	Albert George Kuntemeier	Oct. 13	San Antonio	92	75	US
17	James Patrick Brown	Oct. 15	Centerville	82	63	US
18	Francis Richard Heyer	Oct. 19	San Antonio	102	83	US
19	*Gerald Thomas Chinchar	Oct. 28	San Antonio	80	61	US
20	Stellino Pedrollo	Nov. 24	Roma	85	69	IT
21	Tarcisio Rimoldi	Dec. 12	Roma	94	78	IT
22	*Luis María Lizarraga Barrenechea	Dec. 31	Donostia-San Sebastian	89	71	ES

2024年誓願・叙階記念者リスト

January 9

(25° ordination)

*Sarasua, Iñaki (ES)

March 14

(60° ordination)

*Bringas, Antonio (ES)

*Buby, Bertrand Andrew (US)

*Miller, Charles H. (US)

*Russell, James Aloysius (US)

*Valmaseda, Martín (ES)

March 20

(25° ordination)

*Aguirre, Javier Andrés de (LA)

March 24

(50° ordination)

*Cortés, Manuel (ES)

April 2

(60° ordination)

*Pauels, Léo Lambert (IV)

April 4

(50° ordination)

*Witwicki, Robert (FR)

April 11

(50° ordination)

*Chastrusse, Charles (FR)

April 24

(50° ordination)

*Stoltz, Jacques (FR)

May 1

(25° profession)

Bilung, Marianus (IN)

May 25

(50° ordination)

*Fitz, James Francis (US)

June 27

(25° profession) Batsimba Mounoki, Anthelm Fernand (FR)

Schelker, Nicolas (FR)

July 19

(60° ordination)

*Cano-Manuel, Fernando (ES)

July 31

(25° profession)

*Lugutu, Bernard Ombima (EA)

August 15

(60° profession)

*Eden, Timothy Edward (US)

(70° profession)

Bolts, William Thomas (US)

*Côté, Eugène (CA)

*Dwyer, Timothy (US)

Wachtel, Irwin (US)

(75° profession)

Dix, Richard Joseph (US)

Slay, Leo Irving (US)

(80° profession)

*De Martini, Pierino (IT)

August 16

(70° profession)

*Cantonetti, Arnaldo (IT)

August 18

(50° profession)

Klco, Daniel Lee (US)

August 20

(80° profession)

Leahy, James (US)

August 22

(60° profession)

Bau, Roger (US)

Contadino, James Anthony (US)

Corbin, Lawrence William (US)

Habjan, John Frank (US)

Ormond, Mark Clayton (ME)

Overman, Ronald Leo (US)

Pieper, Thomas Joseph (US)

August 23

(75° profession)

Gausling, Charles Joseph (US)

*Hughes, Robert Emmet (US)

September 8

(70° profession)

Grundish, William Ira (US)

September 12

(60° profession)

*Cremades, Germán (ES)

*Gonzalo, Manuel (LA)

(70° profession)

*Arnaiz, José María (LA)

Fernández, Rafael (ES) Lara, José Lázaro (LA)

Marchadour, Joseph Marie (FR)

*Pacheco, Antonio (ES)

*Pauels, Léo Lambert (IV)

(75° profession)

*Atucha, Juan Bautista (ES)

Brissinger, André (FR)

*Cano-Manuel, Fernando (ES)

Fernández, Jesús (ES)

Pérez, Eliseo (ES)

September 14

(50° ordination)

*Lapetra, Álvaro (LA)

*Zabala, Ignacio María (ES)

September 24

(75° profession)

*Cahill, Donald (US)

October 2

(60° profession)

*Chastrusse, Charles (FR)

Miclo, Joseph (FR)

(70° profession)

Rota, Evasio (IT)

October 16

(25° ordination)

*Thompson, John F. (US)

November 1

(50° ordination)

*Fernández-Moscoso, Eduardo (ES)

November 30

(50° ordination)

*Bouffier, Robert John (US)

2024年 マリアニスト家族のカレンダー



1 月

10：福者マリー・ド・ラ・コンセプション（アデル）の記念、創立者

22：福者ギョーム・ヨゼフ・シャミナードの記念、創立者

2 月

02：ボルドーのコングレガシオンの会員が初めて奉献した記念日

4 月

08：神のお告げ マリアニスト家族の保護の祝日（4つの枝は共通の召命を祝う日、
マリアが“はい”とおっしゃった日）

5 月

25：キリスト者の助け手である聖マリア 汚れなきマリア修道会の創立記念日

31：聖母の訪問 アリアンス・マリアルの保護の祝日

8 月

13：福者ヤコブ・ガップ司祭殉教者の記念

9 月

12：マリアのみ名 マリア会の保護の祝日

18：福者カルロス・エラーニャと同志殉教者の記念

10 月

02：守護の天使 マリア会の創立記念日

13：世界マリアニスト祈りの日 コートジボアール アビジャンの聖母巡礼堂にて

11-12-13：マリアニスト家族世界評議会の会議

11 月

06：福者ミゲル・レイバール司祭と同志殉教者の記念

12 月

08：無原罪の聖マリア 信徒マリアニスト共同体と汚れなきマリア修道会の保護の祝日

最近の総本部通信

- 計報：21号
- 12月1日：総会連絡#3、討議要綱 (*Instrumentum laboris*) の最初の草案付き、3ヶ国語にて準備委員会から第36回総会の代議員に送付
- 12月1日：総会のための準備の祈り、3ヶ国語にて準備委員会から行政単位責任者あて送付
- 12月4日：2024年のマリア会教育要覧についての情報養成、3ヶ国語にて教育局長、Maximin Magnan士から行政単位の教育補佐あて送付(ラテンアメリカを除く)
- 12月6日：マリアニスト家族の地域評議会への書簡、3ヶ国語にてマリアニスト家族世界評議会から行政単位責任者あて送付
- 12月8日：マリアニスト家族世界評議会 (WCMF) のメッセージ、3ヶ国語にてマリア会全の全会員あて送付
- 12月22日：“新しいワイン” (マリアニスト家族としてのカリスマ的な資源の分かち合い)
#7、3ヶ国語にてマリアニスト研究センター、調整役José Iglesia士からマリアニスト研究センター(CEMAS)の所長、ゾーン会議議長、行政単位責任者、養成所の上長、WCMFのメンバーあて送付

総本部日程

- 1月12日-25日：教育局長、Maximin Magnan士が教育とアジア文化に関するインドでのアジアゾーン会議シンポジウムに出席

2024新年おめでとう！

“見よ、新しいことを私を行う。今や、それは芽生えている。
あなた方はそれを悟らないのか。私は荒れ野に道を敷き、
砂漠に大河を流れさせる。”(イザヤ 43・19)

Via Latina 2つの共同体は全てのマリアニスト家族メンバーに幸多い新年のご挨拶を申し上げます。どうか主が私たちを祝福してくださり、また、嵐の中の海の星であるおとめマリアの取り次ぎを通して、私たちが宣教活動において平静さを見出すことが出来ますように。